

国際トレンド



IFAC総会及び理事会 シンガポール会議報告

国際会計士連盟（IFAC：International Federation of Accountants）の年次総会が2015年11月11日、理事会が11月13日にシンガポールにおいて開催された。総会には、日本から森公高会長、海野 正専務理事、筆者及び事務局が出席し、理事会には、海野専務理事（テクニカル・アドバイザー）及び筆者が出席した。なお、11月12日には、シンガポール会計審議会（SAC）及びシンガポール勅許会計士協会（ISCA）の主催によるコンベンションが行われた。以下、総会及び理事会の概要等を報告する。

IFAC年次総会

1. 理事会メンバー及び指名委員会メンバーの承認

毎年、年次総会において、理事会メンバー及び指名委員会メンバーの一部改選が行われる。当年度は、理事会メンバー8名（うち4名は再任）、指名委員会メンバー4名（うち2名は再任）の選任が承認された（理事会メンバーの任期は1期3年で2期まで務める

ことができる。）。

この結果、会長を除く、新年度の理事会メンバー構成は、日本、米国（1団体から2名）、英国（3団体から2名）、アイルランド、ドイツ、ノルウェー（北欧諸国代表）、カナダ（1団体から2名）、ブラジル、オーストラリア（2団体から2名）、中国、香港、インド、韓国、インドネシア、トルコ、南アフリカ、ナイジェリア、ジャマイカの各団体の代表となった。

2. IFACの2016年～2018年戦略計画の承認

2015年9月の理事会で承認された「グローバルな職業的専門家の未来を描く（Charting the Future of the Global Profession）」というタイトルの2016年～2018年戦略計画が審議に諮られ、総会で承認された。本戦略計画は、IFACの定める目的を達成するための一連の活動計画や目標を要約したものであり、特定の経済的及び社会的利益の追求におけるIFACの比較優位性を十分に活かすための戦略的優先順位が記載されている。

3. 新規加盟団体の承認と加盟団体に対する措置

ブルキナファソ公認会計士協会（ONECCA-BF：Ordre National des Expert Comptables et des Comptables Agréés du Burkina Faso）及びベトナム公認会計士協会（VACPA：Vietnam Association of Certified Public Accountants）を準会員（Associate）とすることが承認された。

IFACに正会員として加盟する、ロシアの会計職業専門家団体の1つであるロシア会計職業専門家協会（IPAR：Institute of Professional Accountants of Russia）が、2014年及び2015年の年会費未払いのため、除籍処分とされた。

また、年会費支払遅延等により、正会員のベトナム会計協会（VAA：Vietnam Accounting Association）、準会員のウクライナ公認会計士・監査人協会及びウズベキスタン監査人評議会の会員資格停止処分が延長されることとなった。

4. その他

- IFACは、フランス語圏会計士連盟 (FIDEF : Fédération Internationale des Experts-Comptables Francophones) とIFACの公表物のフランス語翻訳に関する覚書を締結した。これにより、IFAC公表物の単一で高品質なフランス語による提供が可能となった。世界247万人のフランス語圏において、国際基準等の採用と着実な履行が強化されることとなる。
- 2005年から選任されているCitricooperman LLP (IFAC本部の入るビルにオフィスがある。)を2016年から2017年もIFACの監査人として再任することが承認された。
- 国際公会計基準審議会 (IPSASB) の議長が2015年で任期を終え、2016年から交代するため、両議長から挨拶があった。
- 計画・財務委員会 (PFC)、ガバナンス委員会 (GC)、監査委員会 (AC)、公共政策・規制助言グループ (PPRAG) の各小委員会議長及びその他の委員会の各議長、公益監視委員会 (PIOB) の代表から、この1年間の活動について報告があった。
- 次回の年次総会は、2016年11月16日から17日まで、ブラジルのブラジリアで行われる予定である。

II IFAC理事会

1. 理事会メンバーの交代

年次総会の承認を受け、理事会メンバーの約3分の1 (8名) が交代した (再任を含む)。新メンバーとして、米国、ポルトガル (英国勅許公認会計士協会 (ACCA) 代表)、南アフリカ、中国、カナダ (再任)、ノルウェー (再任)、

韓国 (再任)、ジャマイカ (再任) の各代表が就任し、フランス、ポーランド (ACCA代表)、中国、南アフリカの各代表が退任した。この結果、今後1年間の理事会は、日本、米国 (会長のほか2名)、カナダ (1団体から2名)、ドイツ、英国 (英国勅許公共財務会計協会 (CIPFA) 及びスコットランド勅許会計士協会 (ICAS) 代表)、アイルランド、ノルウェー (北欧諸国代表)、ポルトガル (ACCA代表)、オーストラリア (2団体から2名)、インド、中国、香港、韓国、インドネシア、トルコ、ブラジル、南アフリカ、ナイジェリア、ジャマイカの各団体の代表から構成される。

2. IFAC理事会内の小委員会のメンバー構成

理事会には、計画・財務委員会 (PFC)、ガバナンス委員会 (GC)、監査委員会 (AC)、公共政策・規制助言グループ (PPRAG) の4つの小委員会があり、新年度のメンバー構成が承認された。なお、筆者は、引き続きPPRAGに配属されることとなった。

3. 地域組織によるプレゼンテーション

欧州会計士連盟 (FEE : Fédération des Experts Comptables Européen) のCEO及び全アフリカ会計士連盟 (PAFA : Pan African Federation of Accountants) の新会長及びCEOから、最近の活動についての説明があった。

4. CEOからの報告

IFACの2つの重要な運営領域であるグローバル会計専門職開発 (GAP-D : Global Accountancy Profession Development) 及びグローバル会計専門職支援 (GAP-S : Global Accountancy Profession Support) について以下の説明があった。

- GAP-D : “Accountability.

Now.” (公共部門の説明責任と透明性を向上させるための取組み) に関連するイベントをセネガルとアブダビで開催した。このイベントは、会計専門職が他の組織と提携して公共部門の説明責任及び透明性に関するメッセージを発信する好例となった。このメッセージは、新たに選任された広報・プロモーション会社を通じて、また、当該イベントに出席したブルームバーグやロイターといった世界的メディアを通じて、広く展開された。

- GAP-S : グローバル・ナレッジ・ゲートウェイ (IFACのウェブサイト内にあるコンテンツの1つで、会計専門職に関わる重要な事項や分野に関する多種多様な情報及び意見を掲載している) では、引き続き、視聴者の増加と機能性の向上及び内容の充実に取り組んでいるところである。GAP-Sではまた、組織内会計士 (PAIB) や中小規模事務所 (SMP) の意見などを代弁する形で、基準設定に対する広範な意見の提案や、国際会計士倫理基準審議会 (IESBA) や国際統合報告評議会 (IIRC) などの複数の組織との協働も行っている。さらに、2015年度版のSMPサーベイを22言語により実施した。

5. その他

今回の理事会は、2016年3月3日から4日にニューヨークで開催される予定である。

(IFAC理事会メンバー 染葉真史)